

# 「少子化対策とアスト津について」 アンケート実施報告

子ども・福祉部少子化対策課  
環境生活部ダイバーシティ社会推進課

今後の子どもが豊かに育つ地域づくりのほか、みえ県民交流センターに関する検討に向けた重要な資料とするため、少子化対策やみえ県民交流センターに関する意識などについて、アンケートを実施しましたので、その結果をお知らせします。

## 【アンケート概要】

1. アンケート実施期間  
令和元年8月9日（金）から8月30日（金）

2. 意見募集の結果  
対象者数 1073人  
回答者数 730人（回答率 68%）

3. 回答者の属性（年齢）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	総計
2	48	152	189	157	131	51	730

4. 回答者の属性（居住地）

北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	総計
360	207	87	57	19	730

## 1 少子化対策について

### 1) 三重県子ども条例について (Q1、Q2)

子ども条例について、32.1%の方が「名前も内容も知っている」、「名前だけは知っている」と回答した一方で、67.9%の方が「全く知らない」と回答しており、引き続き、子ども条例について皆さんに知っていただく取組が必要です。(図1)

なお、条例を知ったきっかけは「県や市町の広報紙」の割合が44.5%で最も高くなっています。(図2)

図1 子ども条例の認知度

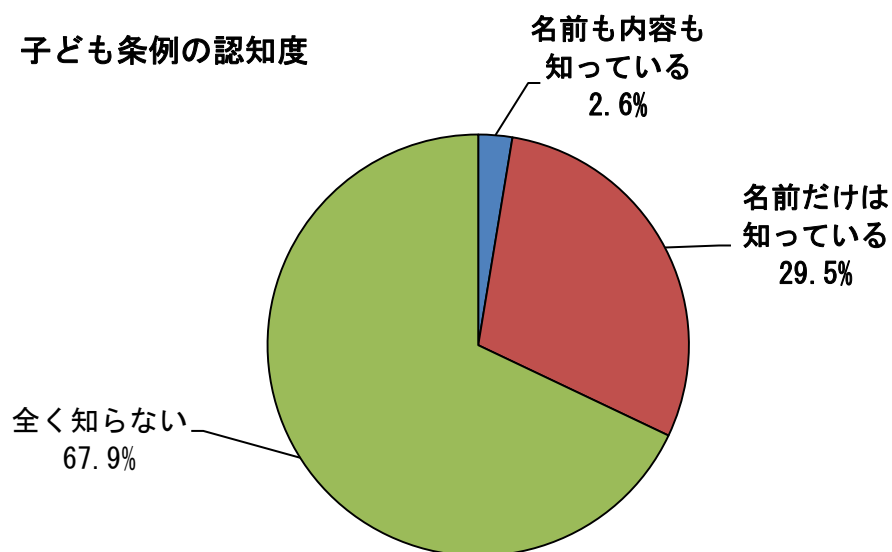
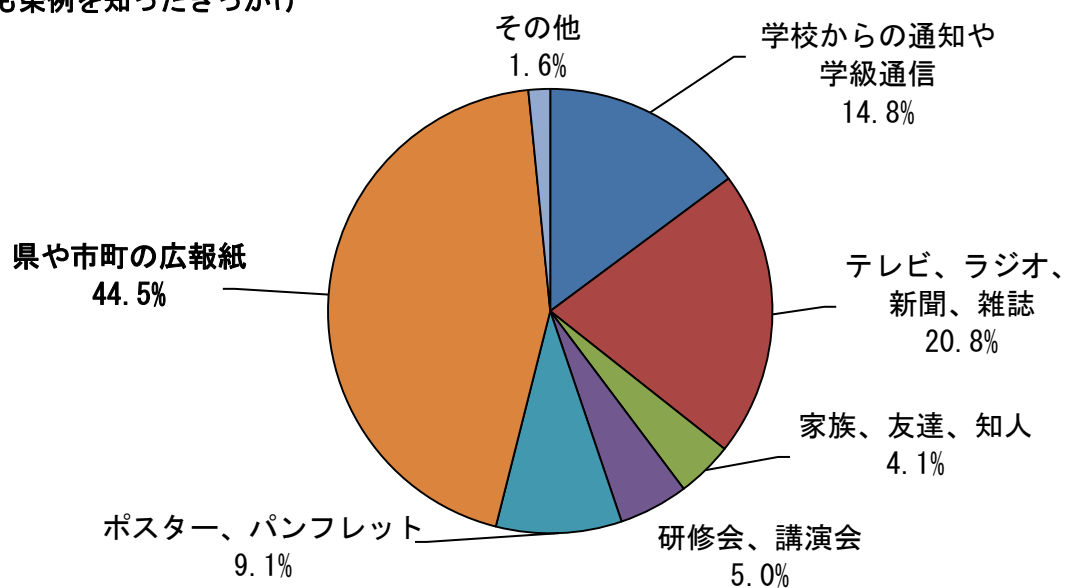


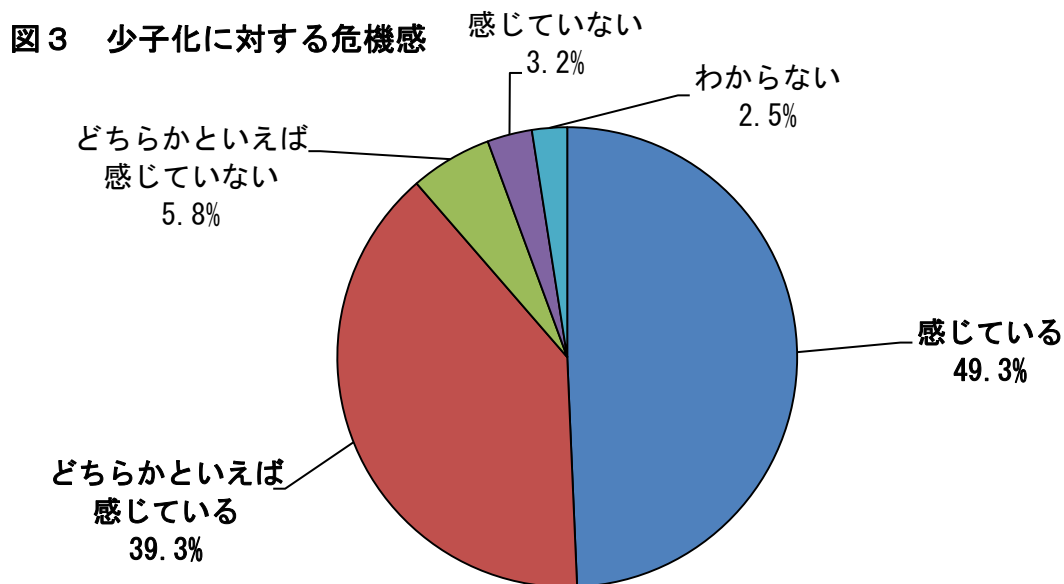
図2

### 子ども条例を知ったきっかけ



## 2) 少子化に対する危機感について (Q3)

「少子化の状況に危機感を感じているか」という質問に対して、「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した方が 88.6%でした。多くの県民が少子化に対して危機感を持っています。(図3)

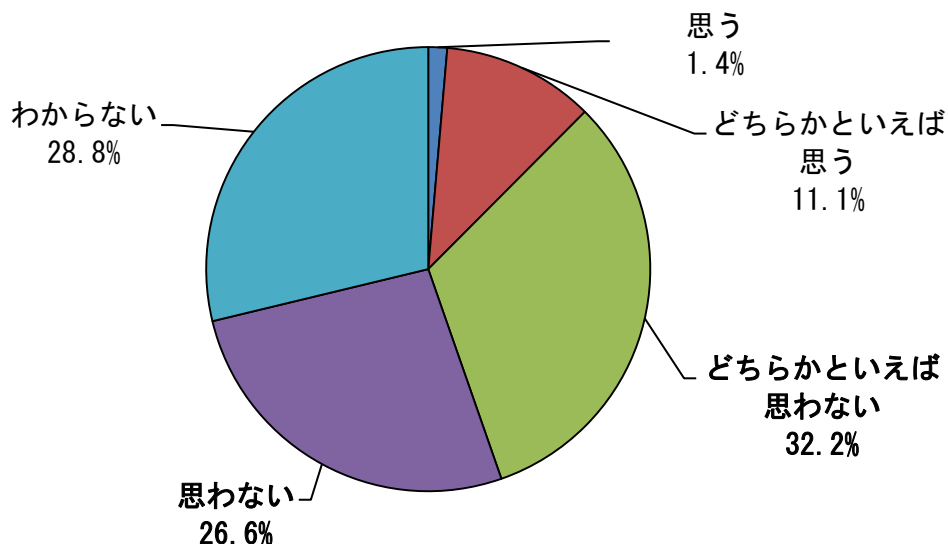


※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。

## 3) 少子化対策の取組の効果や成果に対する認識について (Q4)

「県の少子化対策の取組による効果や成果が現れてきているか」という質問に対して、「どちらかといえば思わない」、「思わない」と回答した方が 58.8%、「わからない」と回答した方が 28.8%と、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方の 12.5%を大きく上回っており、県民が取組の効果や成果を実感できるよう、引き続き少子化対策を進めていく必要があります。(図4)

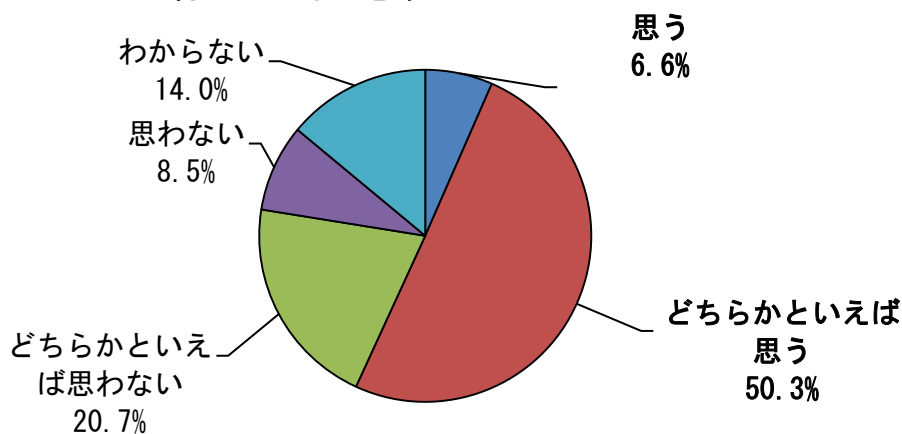
図4 少子化対策の取組の効果や成果が現れてきているか



4) 子どもの豊かな育ちについて (Q5)

「ご自身が住んでいる地域において、子どもがいきいきと育っていると思うか」という質問に対して、「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方が 56.9%で半数以上である一方、「どちらかといえば思わない」、「思わない」、「わからない」と回答した方も 43.2%あり、引き続き子どもの豊かな育ちにつながるよう取組を進めていく必要があります。(図5)

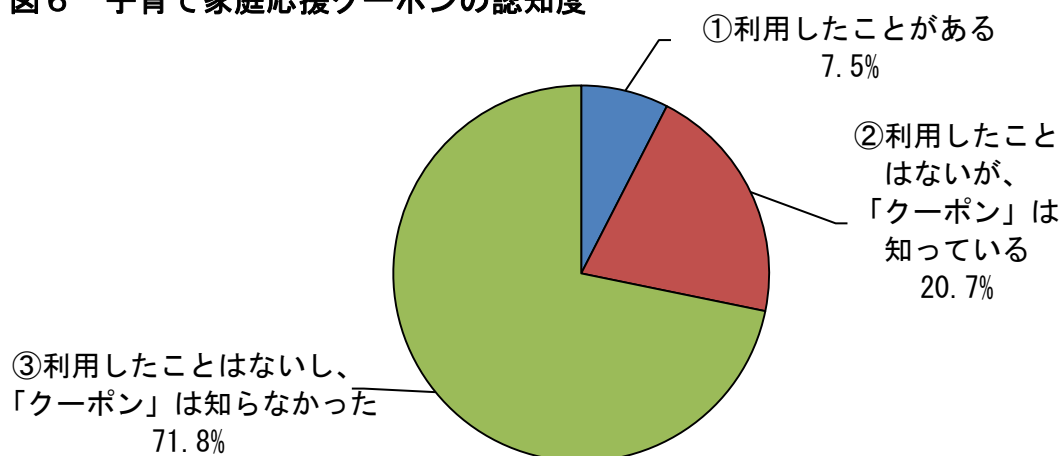
図5 子どもがいきいき育っていると思うか



5) 子育て家庭応援クーポンについて (Q6)

「子育て家庭応援クーポンを利用したことがあるか」という質問に対して、③が 71.8%となっています。また、②は 20.7%で、①は 7.5%にとどまっています。引き続き、子育て家庭応援クーポンについて皆さんに知っていただく取組や利用を促進するための取組が必要です。(図6)

図6 子育て家庭応援クーポンの認知度



#### 6) 少子化対策について（自由記述）（Q7）

少子化対策として効果的だと思うこと、子どもが豊かに育つために大切だと思うことについて自由に記入をお願いしたところ、さまざまな観点から多くのご意見やご提案をいただきました。

#### 主な意見

##### ①子どもや子育て世帯等に対する経済的支援の充実

- ・教育費用の軽減
- ・子育て世帯の税負担の軽減

このほか、さまざまな経済的な支援の充実を求める意見がありました。

##### ②子育てと仕事の両立を図るための環境の整備

- ・待機児童の解消
- ・学童保育の充実
- ・病児保育の充実
- ・保育士の質の向上、保育士の待遇の改善
- ・子育て中の女性の職場復帰や再就職の支援
- ・育児休業などの制度の整備
- ・男性の育児参画の推進
- ・仕事と不妊治療を両立させる環境づくり、不妊治療費の軽減

##### ③楽しく子育てができる「まちづくり」の推進

- ・公園や遊び場の整備
- ・子どもが安心して暮らせる環境の整備
- ・いろいろな世代と交流できる場や機会の提供

#### ④結婚支援の充実

- ・非正規労働者の労働条件の改善
- ・若者の所得の向上
- ・出会いの場を増やす

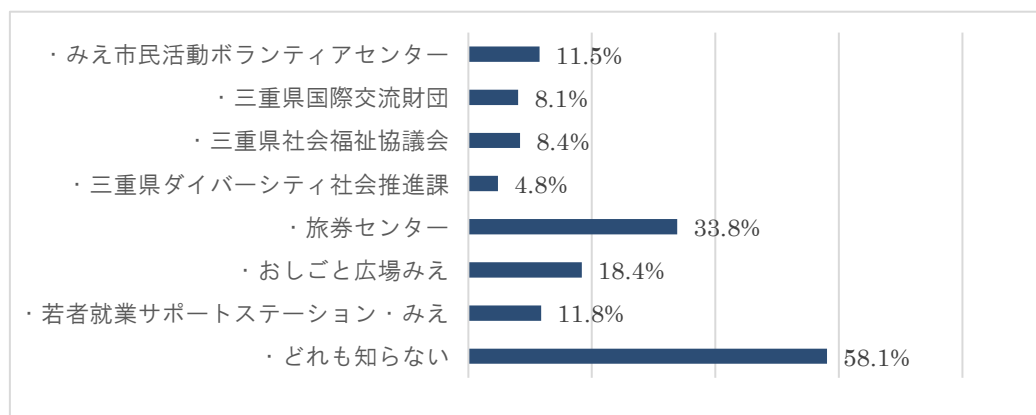
#### ⑤情報発信の強化

- ・行政が提供しているさまざまな子育て支援施策、婚活の情報などの積極的な情報提供

## 2 みえ県民交流センターについて

### 1) みえ県民交流センターの認知度について (Q8)

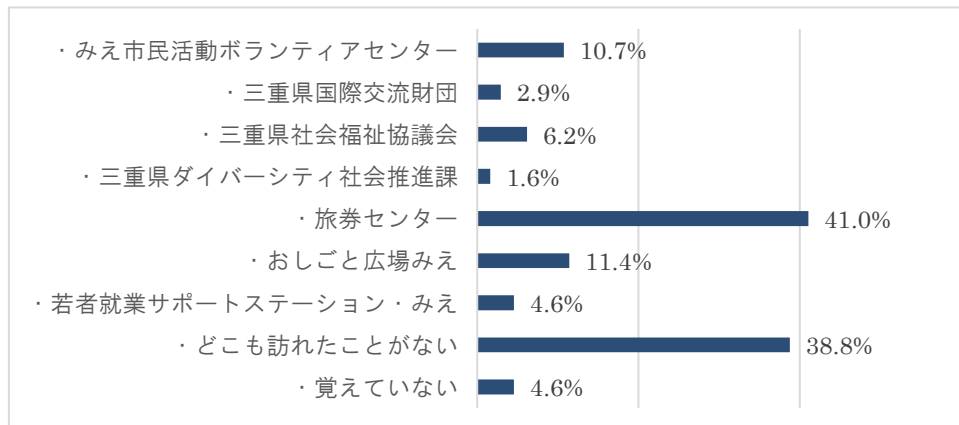
あなたは、アスト津3階にある「三重県民交流センター」内に、次の施設等があることを知っていますか。知っているものをすべて選んでください。



みえ県民交流センター内にある施設等の認知度についてお答えいただきました。「どれも知らない」が58.1%で、知っている方の中では「旅券センター」が33.8%、次いで「おしごと広場みえ」が18.4%、「若者就業サポートステーション・みえ」が11.8%でした。

### 2) みえ県民交流センターの利用経験について (Q9)

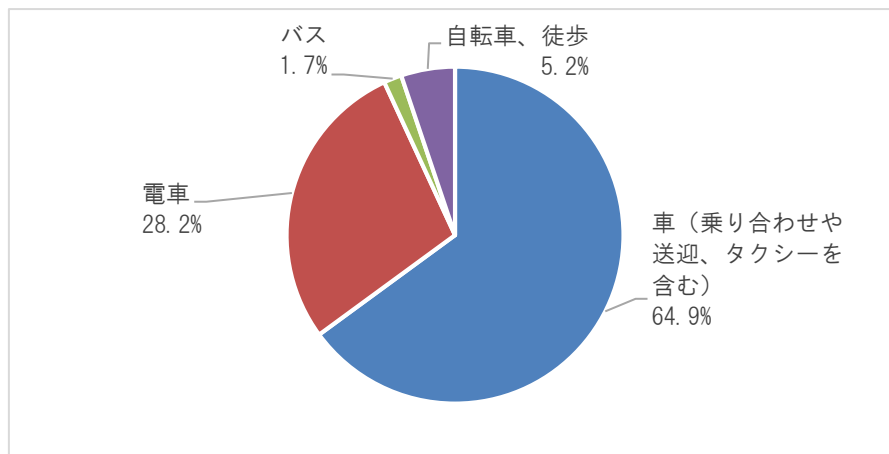
あなたは、「みえ県民交流センター」内にある次の施設を訪れたことがありますか。訪れたことがあるものをすべて選んでください。



みえ県民交流センターの利用経験についてお答えいただきました。「旅券センター」が41.0%、「どこも訪れたことがない」が38.8%、「おしごと広場みえ」が11.4%でした。

### 3) みえ県民交流センターへの来訪手段について (Q10)

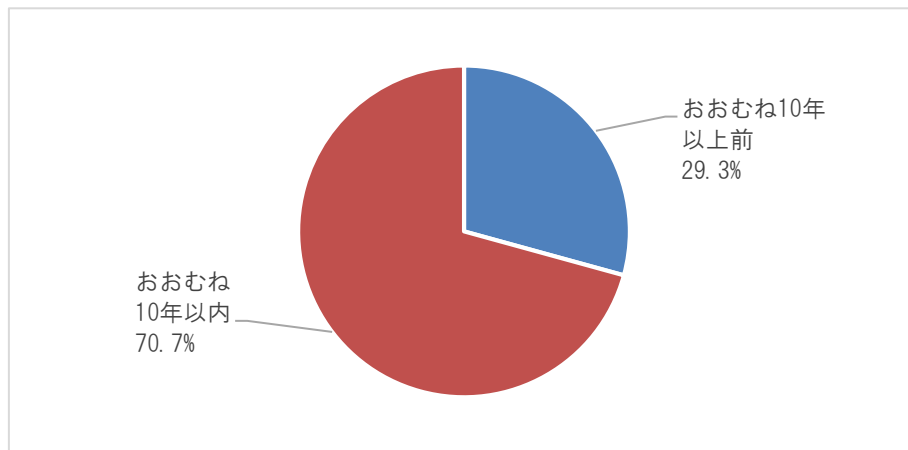
「みえ県民交流センター」を訪れたことがある方に伺います。あなたはどのような手段で訪れましたか。主な手段・最も利用する手段について、あてはまるものを1つ選んでください。



みえ県民交流センターへの来訪手段についてお答えいただきました。乗り合わせや送迎等を含む「車」が64.9%と最も多く、次いで「電車」が28.2%、「バス」が1.7%と、公共交通機関の利用は29.9%でした。

### 4) みえ市民活動ボランティアセンターの利用開始時期について (Q11)

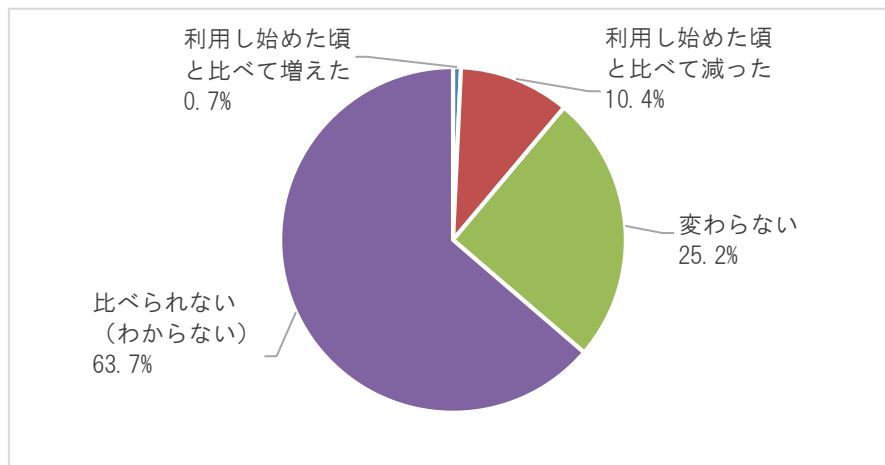
みえ県民交流センター内の「みえ市民活動ボランティアセンター」を訪れることがある方に伺います。あなたが、「みえ市民活動ボランティアセンター」を利用し始めるようになった(利用していた)のは、おおむねいつ頃ですか。



みえ県民交流センター内にある「みえ市民活動ボランティアセンター」の利用開始時期についてお答えいただきました。「おおむね10年以上前」が29.3%、「おおむね10年以内」が70.3%でした。

#### 5) みえ市民活動ボランティアセンターの利用頻度について (Q12)

「みえ市民活動ボランティアセンター」を利用し始めた頃と比べて、ここ2～3年の利用頻度は変わりましたか。

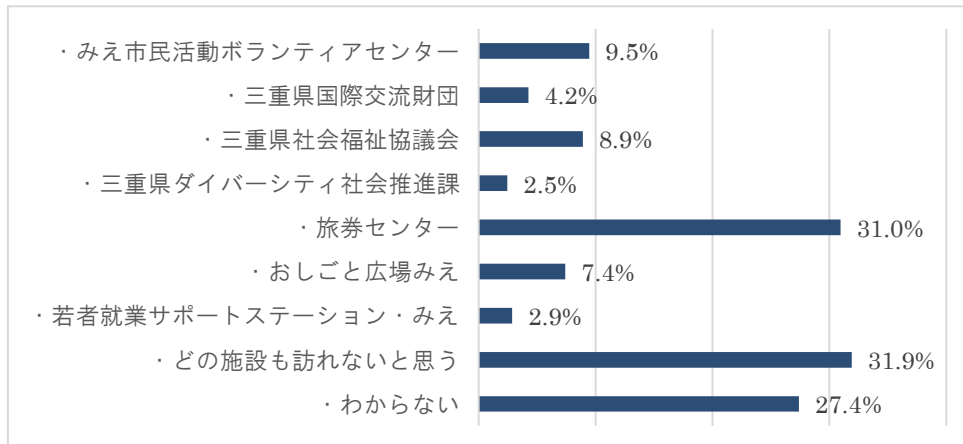


みえ市民活動ボランティアセンターの利用頻度についてお答えいただきました。「比べられない (わからない)」が63.7%で、次いで「変わらない」が25.2%、「利用し始めた頃と比べて減った」が10.4%でした。

#### 6) みえ県民交流センターの将来の利用について (Q13)

あなたが、今後訪れる可能性がある施設等はどれですか。訪れる可能性があるものすべてを選んでください。

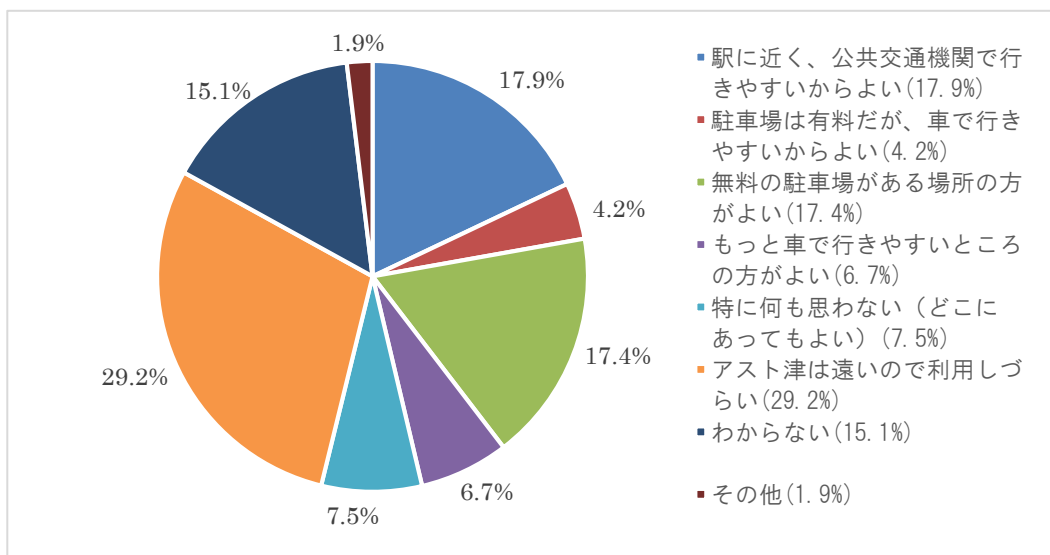




みえ市民交流センターの将来の利用についてお答えいただきました。最も多い「どの施設も訪れないと思う」(31.9%)と、「わからない」(27.4%)を除いた訪れる可能性がある施設の中では、「旅券センター」が31.0%、「みえ市民活動ボランティアセンター」が9.5%、三重県社会福祉協議会(三重県ボランティアセンター)が8.9%でした。

#### 7) アスト津の利便性について(Q14)

あなたは、みえ県民交流センター内にある施設等がアスト津3階にあることについてどう思いますか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。

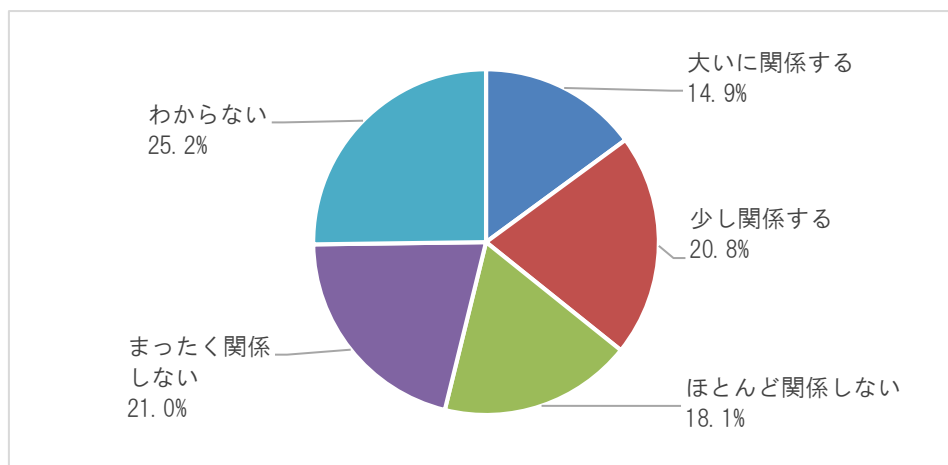


アスト津の利便性についてお答えいただきました。「アスト津は遠いので利用しづらい」が29.2%、次いで、「駅に近く、公共交通機関で行きやすいからよい」が17.9%、「無料の駐車場がある場所の方がよい」が17.4%でした。

#### 8) アスト津と利用頻度との相関について(Q15)

みえ県民交流センターがアスト津にあることは、あなたの利用頻度に関係しますか。あ

てはまるものを1つ選んでください。



アスト津と利用頻度との相関についてお答えいただきました。「わからない」が25.2%で、次いで「まったく関係しない」が21.0%、「少し関係する」が20.8%で、「まったく関係しない」と「ほとんど関係しない」を合わせると39.1%、「大いに関係する」と「少し関係する」を合わせると35.7%でした。